

「大町の未来をつくるⅡ」

大町市内4校の中学生による地域学習の記録



大町の魅力を知って、
今まで大町のことを「いやだな」と思っていた気持ちがきれいさっぱりなくなりました。
これからは大町に住めるということを自分の誇りに思えるように
もっと大町を輝かせていきたいです。

——— 第一中学校1学年の感想より

大町市の中学校

第一中学校 創立昭和 36 年

生徒数 272 名 家庭数 243 戸

—学校教育目標—

峻嶺に輝く一中生

めざす生徒像（自立した学び手の姿）

筋道立てて考え、気づいたことを正確に伝える生徒

いつでも、どこでも、だれにでもあいさつする生徒

もくもくと汗を流してそうじをする生徒

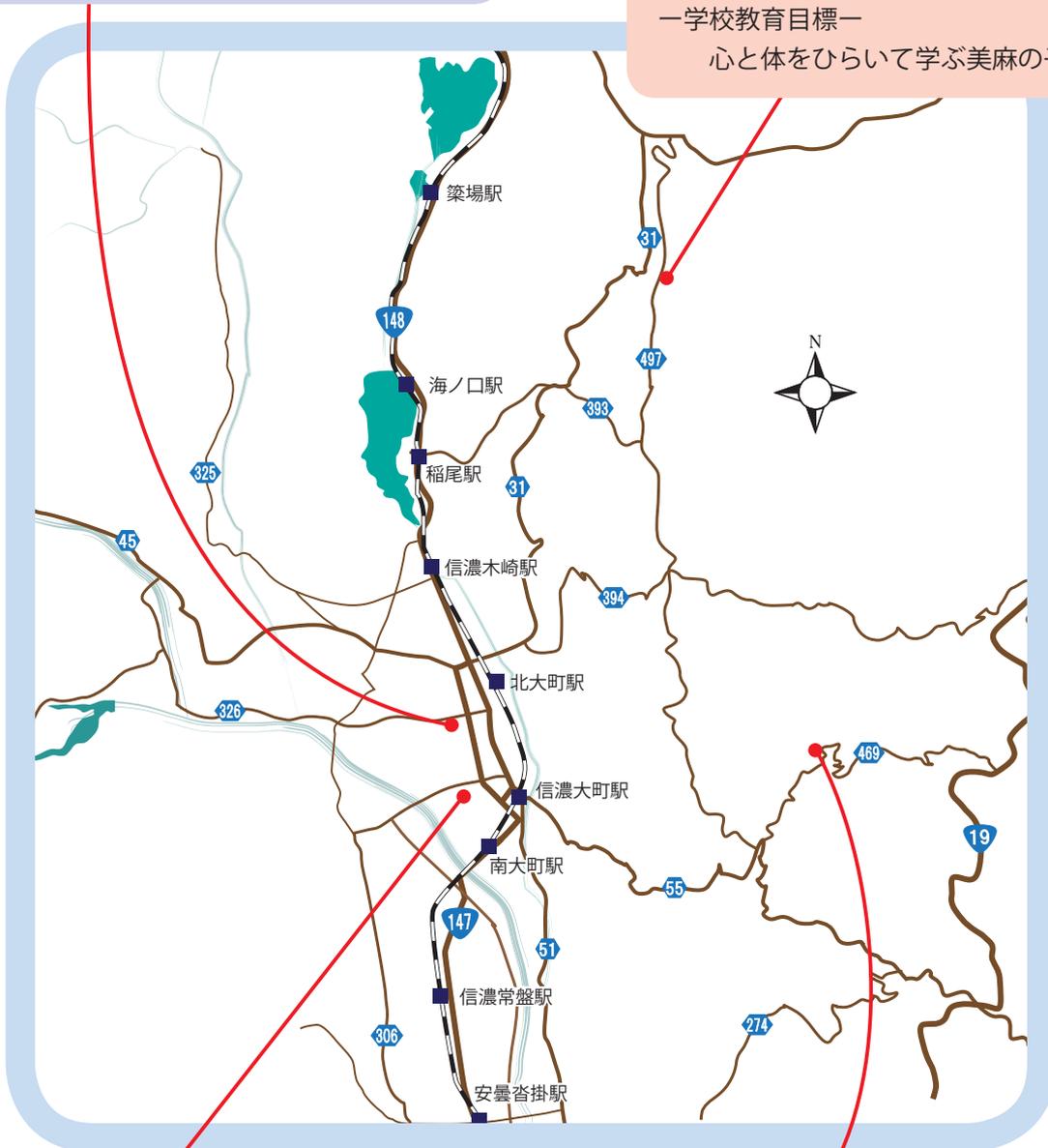
美麻小中学校 創立昭和 52 年

明治 6 年に建てられた 6 校が前身。統廃合を経て、昭和 52 年に現在の美麻小中学校の形になりました。

児童・生徒数 85 名 家庭数 71 戸

—学校教育目標—

心と体をひらいて学ぶ美麻の子



仁科台中学校 創立昭和 42 年

生徒数 393 名 家庭数 374 戸

—学校教育目標—

自主：勉強に魂を打ち込む生徒

友愛：礼儀に篤い生徒

根性：勤労に喜びを持ち、

健康・安全に気を配る生徒

八坂中学校 創立昭和 22 年

生徒数 32 名 家庭数 30 戸

—学校教育目標—

④やりぬく根性「たくましい子ども」

④さがし求める気迫「進んで学ぶ子ども」

④かわいがる心情「思いやりのある子ども」

「大町の未来をつくるⅡ」発行によせて

特定非営利活動法人 ぐるったネットワーク大町
理事長 佐藤 悟

2017年度、大町市内4中学校にて「総合的な学習」での地域学習の取り組みが実施され「市民参加と協働のまちづくりフォーラム」においてその成果発表が昨年引き続き行われます。

NPO法人ぐるったネットワーク大町では、市内4校の中学生による地域学習の素晴らしい取り組みと成果を冊子として記録に残し、4校での様々な視点からの課題や実績を、フォーラム参加者のみならず広く市民の皆さんと共有していくために「大町の未来をつくるⅡ」として発行させていただきました。地域に生きる自分としての課題を見つけ、自ら学び実行して、その成果を相手を意識しながら表現するというところに、この冊子が役立てば幸いです。

本年は、大町市で北アルプス国際芸術祭「信濃大町 食とアートの廻廊」が6月4日から7月30日までの57日間にわたり開催され、国内外から大変多くの方々に大町にお越しいただきました。市民が一丸となって取り組んだこのイベントの中でも、陶芸愛好サークルなどが焼いた小皿に、市内の小学生・中学生の皆さんが、思い思いの絵柄をつけて作成した「おもてなし小皿」約2000枚が市内飲食店に配布され、個性的なおもてなし小皿として活躍しました。

このような取り組みにご指導ご助言等をいただきました教育委員会をはじめ各中学校の先生方や保護者の皆様、職場体験や聞き取り調査等でお世話になった皆様方に感謝を申しあげ、発行にあたっての挨拶とさせていただきます。

「私たちがつくる 私たちの大町市」・「オンリーワンの故郷」を共創していきましょう。

地域と共に未来をつくる協働の学び

大町市教育長 荒井 今朝一

NPO法人「ぐるったネットワーク大町」の皆様には、日頃から大町市の児童・生徒の教育活動に多大なご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、この度は、昨年を引き続いて大町市の子どもたちの地域学習に取り組む姿を『大町の未来をつくるⅡ』としておまとめいただき、重ねて感謝申し上げます。

少子高齢化と生活格差の拡大や価値観の多様化、国際化・情報化の進展など予測を超える社会経済の変動により、子どもたちを取り巻く社会環境も急激に変化しております。今、子どもたちに必要なのは、足はしっかりと大地に根を下ろしながら、頭は国内はもとより世界を見渡し、社会の中で協働して粘り強く課題を解決し生き抜いていく力です。

大町市では、こうした諸課題に積極的に対応すべく、本年度から市内全小中学校をコミュニティスクール化し、地域に根差した教育の推進を図る一方で、ICT環境の整備やALTの充足、キャリア教育の充実など学校支援体制の整備促進に努めております。

『ぐるったネットワーク大町』では、学校と連携しつつ「地域を知り、地域を学ぶ活動」を積極的にご支援いただいておりますが、本年度も市内小中学校の地域学習の姿を本冊子としてまとめていただきました。この冊子を通じて学校教育への理解と協力が深まることを願ってやみません。

教育委員会では、今後も教職員はじめ保護者、地域住民の皆様と一体となった協働の力により、開かれた学校づくりと地域教育の推進に努めてまいりますので、関係者の皆様には、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

目次

市内4中学校紹介	2
「大町の未来をつくる」発行によせて	3
地域と共に未来をつくる協働の学び	4
目次	5
第一中学校	
総合的な学習の時間の概要	6
総合的な学習の時間1学年	8
総合的な学習の時間2学年	10
総合的な学習の時間3学年	12
仁科台中学校	
総合的な学習の時間の概要	14
1学年仁科タイム	16
美麻小中学校	
総合的な学習の時間の概要	22
9年生美麻市民科	24
8・9年生美麻市民科	26
八坂中学校	
総合的な学習の時間の概要	30
やさかの時間	32
姉妹都市立川市との中学生サミット	38
大町市市民活動サポートセンターの紹介	39

※現行学習指導要領では、次の目標を掲げた「総合的な学習の時間」が位置づけられており、市内中学校では、この時間を使って地域学習に取り組んでいます。

文部科学省が定める「総合的な学習の時間」の目標

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。(中学校学習指導要領より抜粋)

第一中学校 総合的な学習の時間（キャリア教育）の概要

I 目標

●総合的な学習の目標

- 自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する力を育てる。
- 学び方やものの見方、考え方を身に付け、問題解決に生かす。
- 問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協働的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考える力を育てる。

●第一中学校の総合的な学習（キャリア教育）の目標

「**自分を知り、地域や社会とつながりながら、自分の生き方を考えられる生徒の育成**」

II 具体的な「つきたい力」

総合的な学習としてつきたい力	つきたい汎用的能力
①課題を見つけ、解決していく力 自らの体験を通して得た事柄の中から、課題を解決するために、調査活動や体験活動を計画し、実行できる。友との共同追求を行う中から課題解決の見通しを持つことができる。	自己理解・自己管理能力 「自ら考え動く力」 課題対応能力 「計画を立てそれを実行にうつす力」
②表現力 学んだ内容をわかりやすくまとめ、相手を意識しながら表現し、伝えることができる。	人間関係形成・社会形成能力 「人や社会と関わる力」
③自己の生き方を考える力 地域にふれ、人に関わり、様々な人たちの生き方にふれることを通して自分の生き方を考えることができる。	キャリアプランニング能力 「はたらくことと自分との関係をとらえる力」

III 学習内容

1 学年テーマ 自分を知る学び方を知る

地域を知り、紹介する活動を行っていく中で、調査の仕方や学び方などについて学ぶ。また、自分自身について理解を深める中で、自分を客観的に見る視点を意識する。

2 学年テーマ 自分と社会の関わりを考える

「はたらくこと」についての学習を進め、自分の将来を意識する中で、職場体験学習を行い、地域ではたらく人々と共にはたらき、関わりながら多くの人々に「支えられて生きている自分」を意識する。

3 学年テーマ 自分と地域の関わりを考える

これまでお世話になってきた地域の抱える問題点について学び、地域に出て実際にその解決に向けて活動しながらその問題点を解決する方策を考えることを通して、「地域に生きる自分」を意識する。

IV 学習方法

- ①学年をベースとして推進するが、学年としてのテーマを基本に据えながら進める。形態は学級ごと、テーマ別グループごと等、内容に応じたものとする。
- ②学習する内容、学習した内容、次回に向けての方向等を毎時間用紙に記入し、ファイルに保存していく。できる限り3年間ファイルを共有していけるようにする。（ポートフォリオ化する）
- ③協働の学びを軸としたグループでの対話活動を中心に据え、課題を共有しながら進める。
- ④地域の人材バンク、商工会議所などのご協力をいただきながら、推進する。また、職場体験学習についてPTA（一中のキャリア教育を支える会）と連携しながら、体験職場、体験日数の確保などを行う。
- ⑤調査活動の意味づけを確実にし、調査が目的にならないようにする。
- ⑥学習したことをまとめ、全校（文化祭）や学年内などに発表、発信する機会をつくる。また、学習の過程でできたもの、情報などを外部へ発信する。

総合的な学習の時間（キャリア教育）平成29年度年間計画

		1 学年		2 学年		3 学年	
		自分を知らる 学び方を知る		自分と社会との関わりを考える		自分と地域との関わりを考える	
パ フ ォ ー マ ン ス 課 題	1 学年パフォーマンス課題「大町一中ツアーリスト」 あなたは旅行会社の社員です。大町にはじめて訪れる観光客に大町の良さが伝わるような観光コースを考えてプレゼンしてください。	自分を知らる		2 学年パフォーマンス課題「私の就職活動」 あなたは就職を控えた学生です。面接試験で聞かれる次の問いの回答を用意してください。 ①あなたはなぜ、この会社で働こうと思ったのですか。 ②あなたは何のために働こうと思っていますか。		3 学年パフォーマンス課題 あなたは大町の市議会議員です。大町市を活性化させるための「地域再開発プロジェクト」を具体的に考え、提案してください。	
		オリエンテーション	ACT: 1 「調べ方を学ぶ」 大町の魅力って何だろう 大町の魅力って何だろう ACT: 2 「調べ方を学ぶ」 取材の仕方を学ぶ インタビューの方法を学ぶ インタビューしたことを整理 国際芸術祭を鑑賞する	オリエンテーション ACT: 1 「自分」を知る活動 自分ってどんな人だろう 自分の「好きなこと」 自分の強みと弱み なりたい自分を見つける ACT: 2 「働くとは何か」を考える活動 自分の働きたい会社はどんな会社だろう (5月9日,10日 マナー研修 民泊 企業見学) お家の方にインタビュー (インタビュー活動) 地域で働く方にインタビュー ※職場の選定 地域で会社経営をされている方のお話 ※職場の選定	修学旅行のまとめ オリエンテーション ACT: 1 大町を知る 大町の魅力と課題を知る 大町市の課題について (講演) 市の課題について考え、その解決策を考える ※講演者の紹介 進路講話 ACT: 2 自分のできることを探る 課題解決に向けた計画作成 地域での活動① 活動①の振り返り 地域での活動経験を元に「できそうなこと」案を作成		
追 求 の 流 れ	学び方を学ぶ	地域の人とともにはたらく		地域のためにできることを考える		地域のためにできることを考える	
		ACT: 3 「まとめと発信を学ぶ」 調べた結果をまとめよう 新聞の作成のしかた 活動の振り返り 担任との懇談	職場体験事前指導 担任との懇談	進路懇談会 担任との懇談			
夏休み	爺衛岳登山	職場体験 (3日間)	文化祭での発表	文化祭での発表	文化祭での発表	文化祭での発表	文化祭での発表
二 学 期	自分を知らる	自分の将来を展望する		自分の将来を展望する		進路選択に向けて	
		ACT: 4 自分について学ぼう 自分ってどんな人だろう 自分の「好きなこと」 担任との懇談 職業適性検査 職業調べ	ACT: 3 パフォーマンス課題を解決する 面接原稿の作成 追求を物語作文で振り返る 担任との懇談 高校調べ 進路講話	ACT: 4 パフォーマンス課題を解決する プレゼンの作成 追求を物語作文で振り返る 自分の進路に向けて			
三 学 期							

ポランティア活動の推進 [地域との関わりづくり イベント等への参加 ※参加できるポランティア活動の紹介]

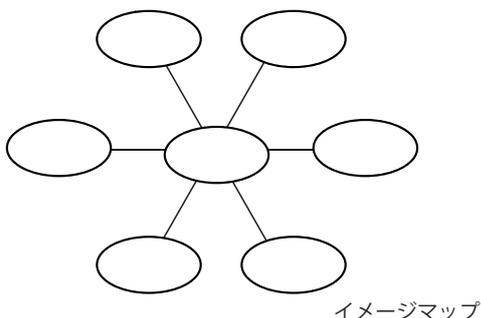
大町市立第一中学校 1 学年
学び方を学ぶ・ODT

1 学年では、学びの基礎となる『考え方』を身につけることを目的に、イメージマップなどの思考ツールと、自らの生きる大町を学ぶことを関連づけて、学びを深めてきました。また、2 学期では、学んだことをもとに、大町の魅力を発信するをテーマに『ODT ～大町第一ツーリスト～』という活動を行いました。

『学び方を学ぶ』

◎思考ツール 〈実際に使った学習シートの一部〉

★今日使う思考ツールはこれ！



●イメージマップの使い方！

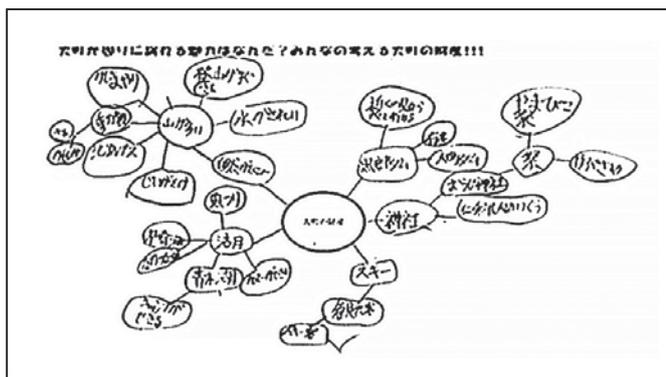
- ① 中心には中心の話題にしたいトピックを書き込みます。
(あらかじめ書き込まれている場合もあります。)
- ② そこから思いつくものを線を引いて、
周りに書き込んで○で囲んでいきます。
- ③ さらにそこからおもいつくものを同じ手順で、
広がっていきます。
- ④ グループなどで交流しながらさらに考えを深めます。

★身につけたい思考スキル (考え方)

アイデアを広げる。考え方を広げる。

このような思考ツールと呼ばれるツールを毎時間、提示して学習していきました。

実際に『大町の魅力』について思考ツールで深めていくと下の様に…。



<実際に使った思考ツール>

- ・ピラミッドチャート
- ・くまでチャート
- ・ステップチャート
- ・KWL ・マトリックス … など

これらのツールを使って自らの住む大町について1 学期は学びを深めていきました。また、今年開かれた、国際芸術祭の際には、県外の方から見た大町の魅力についてもインタビューを行いました。

『授業を終えた生徒の感想より』



- ・イメージマップを使いながら考えると、
どんどん考えが繋がって、広がっていくので考えやすかったです。
- ・奈良から来た人にインタビューをしました。
わたしたちがあたり前と思っていることでも、
県外の人から見ると魅力に感じるんだなと思いました。
- ・ここまで大町について勉強してきて、
自分の知らないことがいっぱいありました。
知ることができて良かったです。

ODT 大町第一ツアーリスト ～大町の魅力を伝えよう～

◎2学期は大町の魅力について学んできたことを『伝える』という活動をメインに行いました。

★あなたは、旅行会社の社員です。都会から大町に旅行に行きたいがそのプランをたててほしいという依頼がありました。魅力を伝えるプランを作ってください。

というパフォーマンス課題のもと、1学期に広げた大町の魅力を活用して、班ごとプラン作成を行い、実際に学年内コンペも行いました。

〈実際に作成されたプランの一例〉



〈生徒のまとめ作文 『大町の魅力と大町に生きるわたし』〉

ぼくはこのすばらしい大町に生まれ、育ちました。大町はものすごく自然豊かでとても良いところです。…実はぼくは大町のことあまり好きではありませんでした。なぜかというとうとうと東京と全然違って田舎がちょっと嫌いだったからです。ですが、大町の魅力をいくつか調べてみると、大町はとても良いところだと気づきました。

…このように大町には多くの魅力があることは知って驚きつつも、なにか心からこみ上げてくるものがありました。大町を知って、「いやだな」と思っていた気持ちがきれいさっぱりなくなりました。これからは大町に住めるということを自分の誇りに思えるようにもっと大町を輝かせていきたいです。

大町市立第一中学校 2 学年 生き方合宿 職場体験学習

今年度の2学年では、宿泊行事を爺ヶ岳登山から自分たちの生活する地域から学ぶ「生き方合宿」へと変え、職場体験学習と共に1年間を通して「自分の生き方を考えていくこと」を目指して活動を行いました。

『生き方合宿』

●目的

- (1) キャリア学習の一環とし、自分の将来について深く考える機会とする。
- (2) 地域社会・学校・生徒間の連携を深め、生徒の個性を尊重した学習の機会とする。
- (3) 働く方の声をお聞きしたり、企業の経営の様子を見学したりして働く喜びと厳しさを学び、感謝する気持ちを育てる。
- (4) 新しいクラスになっての学級づくりと自分たちの力で運営する力を育てる。

●日程 5月9日(火)～10日(水) 一泊二日

<1日目>

平公民館集合……ワークショップ……マナー研修……昼食＝学年レク
&ワークショップ(B & G 体育館)＝木崎湖の旅館へ移動……夕食
……入浴……進路学習……就寝

<2日目>

起床……朝の散策・ボランティア活動……朝食……駐車場集合……出
発(バス移動)＝企業見学①(近藤紡績所(株)大町工場)＝企業見学
②1号車(ラインハルト)2号車(株式会社あづみ野ビバレッジ)
＝昼食……池田クラフトパーク……北アルプス展望美術館見学・ワー
クショップ＝第一中学校到着



☆マナー研修

「挨拶だけでも印象がすごく変わると知って、地域の人たちに対しても、日ごろの挨拶で印象がだいぶ違ってくるのかなと思った。明るい挨拶をしようと思う。」

☆ワークショップ

「自分でも知らなかった自分の一面を知ることができて面白かった。またそれぞれの性格がキャラクターに表されていて、とても分かりやすかった。」

☆企業見学

「糸の作り方は、限界まで(原綿を)伸ばすことであんなに細くなることがびっくりした。糸からタオルなどがこれからどのように作られるのかも知りたいと思った。」「いつも何気なく使っているシャンプーなどがこんなにも大きな機械で作られているとは思わなかった。工場の人たちも自分の仕事に誇りを持っていてすごいなあと思った。」



初めての試みでしたが、生徒たちは「生き方合宿」を通じて身近な人々や地元企業の皆様と出会い、様々な体験の中から多くのことを学び、以後の職場体験学習へ気持ちをつなげることができました。

『職場体験学習』

29年度は大町市内の職場を中心に、全部で47の職場にお世話になり、貴重な体験をさせていただきました。3日間、そして夏休み中に行うという初めての試みでしたが、生徒たちは各職場での体験を通して、「仕事をするとはどういうことなのか」ということをつかむことができました。

●目的

- (1) 生徒が人生観・職業観を培い、自己理解を進める中で、社会の中で生かされる自分や、必要とされている自分、また自分の持っている良さや課題に気づく機会とする。
- (2) 地域社会・学校・生徒間の連携を深め、生徒のキャリア発達を促すための体験的な学習の機会とする。
- (3) 社会の人々によって支えられている自分の生活に気付き、学校・家庭・社会の中で自分がすべき役割や、自分の生き方を見なおす機会とする。

●日程 平成29年7月25日(火)～27日(木)…職場体験学習 28日(金)…まとめの時間

北アルプス医療センターあずみ病院

実際に看護師の仕事をしてみて、看護師の方は患者さんに対して、「気配り、目配り、心配り」をし、とても小さなことでも気づかっていることを知りました。私たちにとって気づきは大変でしたが、気づきをすることで患者さんが笑顔になることを知りました。



大町市はなのき保育園

保育士さんは、園児がいけないことをしたときは目を見て伝え、なぜそれがダメなのかをわからせていました。逆にできなかったことができるようになった時は、一緒に笑顔で一緒に喜んであげていました。私を見て、保育士さんがいかに園児の気持ちをちゃんと考えながら働いているかを知りました。



大糸タイムス社

新聞はたくさんの方が読むものなので、誰が読んでも読みやすく、わかりやすいものでなくてはなりません。私は取材をし、記事を書く体験をさせていただきましたが、わかりやすい表現を考えたり、一つの文を書くにもとても苦労しました。読む人に対する気配りを感じました。



マクドナルド 147 大町店

ハンバーガーの作り方にもお客様が食べやすいようにチーズの角を手前に持ってくるなどの工夫がありました。他にもテーブルがあくごとに丁寧にテーブルをふくなど、工夫することは、楽しいことばかりではありません。でも、お客様に商品をお出した時に言っていた「ありがとう」や笑顔がとても大きなやりがいになる事を感じました。



勝野建築

仕事とはお客さんを喜ばせるために一生懸命汗を流すことだと感じました。勝野さんは「自分の作った家が残っていくことが一番嬉しい」とおっしゃっていました。僕はそれが「やりがい」なのだと感じました。私も将来残っていくものをつくるような職業につきたいと思いました。



信濃大町駅

私が印象に残ったのは「もう覚えたから良いと思わず、何度も訓練することが大切」という言葉です。列車の運行は大勢のお客様の命をあずかる仕事です。慣れてしまい、油断が出るのが一番危険です。体験中にも非常時にむけて訓練をしたりする姿がありました。私は、自分の仕事に責任を持ち、1回1回のことにも真剣に丁寧に取り組むことを大事にしなければならぬと思いました。



大町市立第一中学校 3 学年
わたしたちの大町
～大町活性化プロジェクト～

3 学年の総合的な学習の時間では、ふるさと大町の特徴や課題について調べ、地域のためにできることを考え、実行することを目的に活動している。

本年度は学習の過程を「ACT1:大町を知る」「ACT2:できることを探る」「ACT3:できることで貢献する」「ACT4:発信、課題解決」と位置づけ、以下のようなパフォーマンス課題に取り組んだ。

ACT 1 (大町を知る) パフォーマンス課題

あなたは東京に 1 日、大町市観光大使として派遣されることになりました。
大町市を訪れてみたくなるような魅力を都民に紹介をしてみてください。



活動状況と生徒の感想

「今日、ACT 1 のプレゼンがありました。写真を使って若一王子神社祭りの様子をわかりやすく説明することができたけど、自分の言葉でまとめることができていなかったの
で、自分の言葉でまとめられる力を ACT 2 ではつけていけたらいいなと思いました。」



ACT 2 (できることを探る) パフォーマンス課題

あなたは東京から派遣された大町ふるさと活性化プロジェクトメンバーです。パンフレットを見て訪れたあなたは大町の現状をみました。そして、地域の人声を聞いたり調べたりすることで現状を把握し、地域が活性化するためにできることを探ってください。

知った大町 (新たにできそうなことをつかむ) と地域を結びつける
地域活動への参加と計画 自然 保全活動



商店街での取材



外来種植物駆除



特産品を使った調理



アルプスマラソン
運営打ち合わせ

これまでの活動から見てきたこと
大切なことは大町に対する自分の思い
わたしたち中学生の地元愛！
人が大町を活性化すること

ACT 3（できることで貢献する） パフォーマンス課題

- ①あなたは大町市役所の職員です。大町のPRをすることや、現状を知ってもらうために、再開発プロジェクトを企画します。今まで知り得た情報をまとめ、現状について中間発表を行ってください。
- ②また、プロジェクトを企画するために、必要なことを行ってください。（PRのための具体物の作成、イベント参加、地域清掃、プランづくり）

パンフレットを作成



調査内容を元に第1次プラン作成



参加協力ボランティアを行ったイベント



北アルプス国際芸術祭	イベント運営補助（国営アルプスあずみの公園 7/19）
おおまちゆかたまつり	スタンプラリー受付等（商店街 7/30）
消防フェスタ	イベント運営補助（国営アルプスあずみの公園 10/1）
アルプスマラソン	運営補助（大町運動公園 10/15）
秋の味覚祭り	販売補助 特産品紹介（扇沢駅 10/14,15）

中学生が参加をしてくれたことがたいへんよかった。2日間を通してスタッフが中学生から元気をもらい、よりがんばることができた。中学生の元気な声に感化され、普段より大きな声で、笑顔で、お互いに活動できたことで、物販状況もよかった。売り込みの台詞を自分で考えること、切符売り場の列に試食品を提供すること、自分のできることを考えて、動くことができていました。これからの時代を生き抜くみなさんにとって、とても大切なことではないかと感じると同時に、自分から行う挨拶、仕事とは何かを考えて行動できる力をより伸ばしてほしいと思います。（スタッフの方から）

地域の活動に参加をすることで、地域が近くなり、中学生に求められている人材像が見えてきました。



ACT 4（課題解決） パフォーマンス課題

あなたは大町の市議会議員です。
大町市ではこれからの大町を活性化させるために、「地域再開発プロジェクト」を立ちあげました。プロジェクトリーダーであるあなたは、開発プロジェクトの内容を具体的に決めていかなければなりません。明日から各地区の懇談会で住民に「再開発プロジェクト」について説明することになりました。どんなプロジェクトをどのように説明しますか。説明する内容をまとめたものをつくってプレゼンしてみてください。

最終段階として、一人ひとりが大町市を活性化させるために、プランを立てています。

プラン内容の一例

- ◎商店街活性化
- ◎公園再開発
- ◎ロックフェスティバル
- ◎自然を生かしたまちづくり
- ◎HPで大町を知って！
- ◎パンフレット、ポスターによるPR活動
- …など

90人による90通りのプランをたてることで大町をもっと好きになりたいと思います。

仁科台中学校 総合的な学習の時間「仁科タイム」の概要

仁科台中学校教育目標

「自主・友愛・根性」

1. 意欲的・主体的に追究していこうと する生徒
2. 自分を見つめ自他と対話しながら、よりよく生きていこうとする生徒
3. 相手を思いやる心をもった生徒
4. 自ら心身を鍛え、粘り強くやり遂げようとする生徒

仁科タイムの目標

「地域社会の人・もの・ことに主体的に働きかけることを通して、生きる力を育む」

主な学習活動

- ア 国際理解、情報、環境、福祉・健康、ボランティア
- イ 生徒の興味関心に基づく課題
- ウ 地域や学校の特色に応じた課題
- エ 職業や自己の将来

を横断的・総合的・探究的に
学習することを通して

- 課題発見・解決能力
- 多様な情報収集力
- 多様な発表の方法・発信力
- 主体的・能動的な思考力・判断力
- 言語により整理・分析する力
- 自己の生き方の自覚

の達成を目指す

◆継続型

総合的な学習の時間の趣旨を踏まえて学年内の講座制を整え、各自が講座を選択し体験活動等を行う。各学年で同一時間に実施。副担任の配置は学年内で調整する。(2学年は職場体験学習)

◆特活連携型

全校で同一時間に行う。
人権教育、健康教育(食育)、性教育、ごみゼロ運動など
学習内容に応じて全校、学年及び学級を単位して活動する。

平成 29 年度の仁科タイム学習内容

1 学年	高遠宿泊学習 「地域を知る」 東京都武蔵野市立第五中学校との交流
2 学年	爺ヶ岳登山 「地域の人に学ぶ」 職場体験学習
3 学年	奈良京都修学旅行 「地域と共に生きる」 地域への恩返し活動

16 ページ以降では、今年の一学年が仁科タイムで学んだ内容を紹介します。

<3年間の流れ>

1 学年：「地域を知る」・・・自分の育った地域をより深く知り、地域の良さを知る。

「大町を知る」プロジェクト

講座：「自然」「歴史」「食」「観光」「産業」「人物」・・・

- ①立ち上げ（興味関心より、企画書を書く）→講座編成
- ②講演会（大町の魅力をテーマに）
- ③チームごと調査活動開始（2時間取れる日は、外に取材活動も可能）
- ④夏休みを利用して、取材レポート作成
- ⑤終日仁科タイムに向けての活動準備（企画、アポイントメント、お礼状の書き方）
- ⑥終日仁科タイム → 活動のまとめ（個人レポート作成）、蓮華祭発表準備・発表
- ⑦学びの成果を振り返る（振り返りシート）
- ⑧「働くなって何だろう？」を考え始める → 働く姿をDVDで観たり、講演会を聞いたりして。

2 学年：「地域の人に学ぶ」・・・職場体験学習を中心に「働くこと」について考え、将来の自分の生き方を見つける。

【例】「働くなってなんだろう？」プロジェクト

- ①進路適性検査（自分の適性、やりたいことを見つける）
- ②どんな仕事や職業があるか調べる → 講演会、職業調べ、レポート作成
- ③職場探し（アポイントメント）※1年次に興味をもった先へ職場体験に行きたい生徒もいる
- ④職場体験の打ち合わせ、取材活動
- ⑤職場体験 → まとめ、レポート、蓮華祭発表準備・発表

3 学年：「地域と共に生きる」・・・育ててもらった地域に「恩返しできること」を考える。地域に出て、地域の方々と共にできる活動を組み立てる。

例えば、1年次湧き水について学習した生徒たちが、3年次には地域の河川をきれいにする活動に発展させたり、食について学習してきた生徒たちが、地域の素材をいかして地域のお年寄りと交流しながら郷土料理を作ったり、読み聞かせを学習してきた生徒たちが母校を訪ねて読み聞かせをしたり等。1・2年次の活動が地域をテーマに3年の活動につながることを目指したい。

【例】「きらり☆おおまち未来予想図」プロジェクト きらり☆仁中3学年隊

隊：「クリーン隊」「郷土料理ふるまい隊」「イベント隊」「福祉交流隊」「もの作り隊」

「リサイクル隊」「観光PR隊」「環境整備隊」「商店街盛り上げ隊」

「にっこり交流隊（幼稚園保育園・小学校・一人暮らしのお年寄りとの交流）」等

- ①「地域のために何ができるだろうか？」を考え、企画書を書く
（例えば、人口減少問題をきっかけに）
- ②隊を編成（市の定住促進課、市民サポートセンターからの講演会など）
- ③隊ごとに活動を開始（外に出る活動、学校に呼ぶ活動）
- ④活動内容をポートフォリオしていく（活動の終わりに毎回振り返りを書く）
- ⑤終日仁科タイムに向けての活動準備（企画、アポイントメント、お礼状の準備）
- ⑥終日仁科タイム → 活動のまとめ（個人レポート作成）
- ⑦蓮華祭発表 地域のために役立てた自分を語る姿

3年間のゴール⇒「自分たちのふるさとをどう考え、どうしてくのか？」につなげていく。

一学年は仁科タイムで調べた成果をグループにまとめ、発表しました。

講座	タイトル	発表内容
自然	山岳都市大町の魅力	「～僕らの登る爺ヶ岳」大町市は北アルプスの麓にある街で、そこからたくさんの恵みをいただいています。2年生になると登る爺ヶ岳を中心に山の魅力を紹介します。
	水の街 大町市	「～北アルプスからの恵み～」大町市の川、湖は非常にきれいな水です。特に私たちが毎日飲んでいる水道水は、全て湧き水を使用していて、とてもおいしいです。大町の水について紹介します。
	絶滅危惧種のライチョウ	「～その生態と保護の取組み～」ニホンライチョウは現在1300羽しかいない貴重な鳥です。その生態と問題、大町の山岳博物館を中心に全国5カ所で取り組んでいる保護について紹介します。
	清流大町にすむ魚たち	「～その生態と課題～」大町市の湖はきれいであるため、さまざまな魚がすんでいます。それらの魚の紹介や問題点などを紹介します。
人物	奥原希望選手 上田瑠偉選手	大町市仁科台中学校出身で活躍しているスポーツ選手にスポットを当てて紹介します。世界で活躍するバドミントンとトレイルランの2選手です。
	伝統工芸松崎和紙 腰原修一さん	昔、紙はとても貴重なものでした。いまや高級品であり、松崎と呼ばれるこの地区の名をとり、100年近く伝統のある松崎和紙を製造している工場の腰原さんを紹介します。
	大町市の歴史を担う 仁科氏と百瀬慎太郎	天照大神を奉った国宝仁科神明宮を850年ほど前から400年以上代々守り、この地を治めてきた仁科氏。そして現代になって日本に初めて登山ガイド組織を作った百瀬慎太郎について紹介します。
産業	海なし県でもおいしい海の幸	大町市で海の魚を取り扱っている魚屋の方に取材しました。海のない大町市では、どのようにおいしい魚が食べられるのか、また昔と今の違いを紹介します。
	人手不足を解消 大町市の建築業	建築業は、高齢化が進み人手が足りません。そのような課題を改善するため、どのような取組みをしているのかを紹介します。また、大町地域の建築の特徴や、住宅建築クイズもあります。
	シカが増えている今こそ、ジビエ料理！	狩猟業に興味をもった生徒たちが、狩猟について調べていくと、たどり着いたのはジビエ料理店。お店の取材からどのように狩りをして、料理になるのか、大町市の現状を踏まえて紹介します。
	大町市で活躍をする工業	東京ドーム約15個分の面積を誇る「昭和電工」、そして産業製品を取り扱う「富士電機」について、調査活動や取材の内容から紹介します。
歴史	大町市の神社・仏閣	大町市には、仁科神明宮のほかにも、たくさんの神社や仏閣があります。私たちはどんな神社や仏閣があるのか調べたので、それを紹介します。
	仁科神明宮	大町市の歴史といえば、この仁科神明宮といっても過言ではありません。この仁科神明宮について詳しく調べたので、分かりやすく紹介したいと思います。
	大町市の祭り	大町市で行われている多くの祭りがあります。その祭りはどのようにして行われるようになったのか、どんな歴史があるのか、調べたことを紹介します。
	民話・塩の道	大町には数多くの伝えられてきた民話があります。その民話の内容を紹介します。また、産物を運ぶために使われた塩の道。大町の「塩の道ちょうじや」について紹介します。
食	すごいぞー！ 大町の農産物	大町の農産物について紹介します。大町で生産されている「菜の花オイル」をメインとして生産者へのインタビューの様子や料理への使用の仕方を紹介します。
	大町のグルメ 黒部ダムカレーの魅力	全国にはダムカレーと呼ばれているカレーが各地にあります。その発祥はこの大町です。大町のグルメ「黒部ダムカレー」の発祥や大町の食堂で提供されているダムカレーの魅力を紹介します。
	大町の郷土食	長野県には「そば」や「おやき」などの郷土食があります。「おやき」は各地によって作り方や具材などが異なります。地域の方が代々受け継いでいる大町の郷土食を紹介します。
観光	大町のまちなか案内	まちなかガイドブックを作成し武蔵野市立第五中学校のみなさんにまちなか案内をします。

東京都武蔵野市立第五中学校との交流

仁科台中の1年生は東京の武蔵野市立第五中学校の生徒と交流し、自分たちで調べた大町についてグループに分かれて紹介しました。中でも「観光講座」の36人は実際にまちなかを歩いて第五中の生徒を案内しました。



大系タイムス

昭和21年8月10日 第3種郵便物許可 4

仁科台中 武蔵野第五と交流 大町コミュニティ・スクール一環で



商店街をガイドする仁科中

市内の9つある小学校のすべてで、地域とともにある「コミュニティ・スクール」の運営が始まっている。仁科台中学校が続いている。東京都武蔵野市の第五中学校との交流では、市民が協力する授業を通して地域を学ぶだ生徒が、五中の生徒と交流しながら地域の魅力を発信している。仁科台と第五の2校の1年生が交流する、こととして3年目の取り組み。JA大北農協が窓口となり、武蔵野市が子どもたちに自然体験やふれあい体験を

市内の9つある小学校のすべてで、地域とともにある「コミュニティ・スクール」の運営が始まっている。仁科台中学校が続いている。東京都武蔵野市の第五中学校との交流では、市民が協力する授業を通して地域を学ぶだ生徒が、五中の生徒と交流しながら地域の魅力を発信している。仁科台と第五の2校の1年生が交流する、こととして3年目の取り組み。JA大北農協が窓口となり、武蔵野市が子どもたちに自然体験やふれあい体験をし

てもらおうと取り組む「セカンドスクール」の一環。1年生の3クラス98人が9月22日から4泊5日の日程で、白馬村や大町市などを訪れた。

2017年(平成29年)10月1日付 大系タイムス

…実際に案内をしてみても…

- 東京の人たちが、思っていた以上に真剣に話を聴いてくれたり、クイズに答えてくれたりしたので嬉しかった。
- 大町のことをあまり知らない人に大町のことを説明するのは難しかった。
- 大町と東京の違うところや共通点などがわかってよかった。
- 水をおいしいと言ってくれたのが嬉しかった。
- 交流をとおして、改めて大町のいいところを知ることができてよかった。

生徒達の感想

…準備の中で…

- 歩く道順を決めて時間配分をするのに苦労した。
- 地元に住んでいても知らなかった大町のこと、いろいろわかってよかった。
- 自分では大町のことを知っていたつもりだったけれど、知らないことがたくさんあって驚いた。
- 大町のまちなかには、歴史のあるものや最近できたもの、自然などがあり、思っていたよりすごかった。
- 入れたい情報がたくさんあって、まとめるのが難しかった。

科タイムをコーディネートする「NPO法人ぐるぐるネットワーキング」によるガイド講座も受講。2人ずつペアをつくり、五中の生徒5〜6人ずつを連れて

商店街をガイドした。生徒たちは自分たちで調べて組んだコースに沿って五中の生徒を案内。「男清水」「女清水」の水場や農具川、名店街などを散策した。クイズや質問コーナーなどを交えつつにぎやかだった。五中の狩野友菜さん(12)は「大系線や大町駅の成り立ちが知れて興味深かった」と話していた。

ポスターセッション

「観光」以外の講座の生徒は調べたことを模造紙にまとめ、武蔵野市立第五中学校の生徒に紹介しました。また、第五中の生徒も武蔵野市を紹介してくれました。



仁科台の生徒が大町市を紹介



次に第五中の生徒が武蔵野市を紹介

大町のまちなか案内

「観光」講座

観光講座では、武蔵野市立第五中学校のみなさんにまちなかの案内をするため、実際に街を歩いてみつけた17のポイントについて調べ、ガイドブックを作りました。ここではそのうちの4つを紹介します。



■ 信濃大町駅

信濃大町駅は、今から101年前にでき、その頃大糸線は信濃鉄道と呼ばれていました。当時、日本を軍事国家にするために、アルミニウムが作られました。そのため電気を大量に使うので、水力発電ができる大町に大阪垂鉛鋳業が工場を建て、研究をしました。その時、工場で使う材料を運ぶため、信濃鉄道ができたのです。また、当時から観光のためにも使われました。木崎湖の近くに信濃木崎夏期大学を建て、学生が信濃大町駅から鉄道に乗って大学に行きました。



■ 古い宿場町の通り

この古い宿場町の通りは、昔の人々が荷物を運んでたりするための道と宿があっさかえていた場所です。この道は、糸魚川から松本までつながっていて、千国街道と呼ばれています。その道は、かぎの手とも呼ばれていたそうです。昔のこの道は、塩とかの荷物を運んでいた人たちが、疲れた時に休むための宿とかがありました。でも、明治22年に火事が起きて、その辺りが燃えてしまいました。その後、明治23年にまた建てられました。今は、宿とかはほとんどなくなってしまいましたが、とても歴史がある場所です。



■ 農具川

農具川は、青木湖という湖から流れてきます。そして高瀬川に合流します。10km程あり、戦国時代、仁科氏が大町を開拓し、農業を盛んにするため「農具」という名前がつけました。仁科氏は、「ぬるめ」（水をあたためる仕組み）を木崎湖で行い、その水を農具川に流し、農業を発展させてきました。また、農具川の水を「館ノ内」というところに流し、そこに田畑をたくさん作りました。現在も農具川の水を使っています。



■ 松葉屋旅館

松葉屋旅館は、1919年（大正8年）に建てられました。黒部ダム建設の頃は現場の責任者が泊まるような高級旅館として使われました。最近では芸術祭が行われた時期、月に約100人ほどの人が訪れました。屋上には赤い屋根の望楼があり、北アルプスや後立山連峰や商店街などきれいな景色をみることができます。外国人の作家さんやアーティストの方もよく訪れるそうです。

旅館の中は、いくつか楽しい工夫が施されています。そんな工夫を見に、良かったらぜひ寄ってみてください。

水の街 大町市

私たちは13年間、大町の水を飲んで過ごしてきました。私は、大町は自然が豊かだから何となく水もおいしいんだろうなあと考えていましたが、調べてみると、大町市の飲み水は素晴らしくおいしい水であることがわかってきました。

その理由は、大町市の水の源(みなもと)が北アルプスだからです。これらの水はほとんど北アルプスに源を発しています。川は、高瀬川、かご川、鹿島川、農具川。湖は仁科三湖と言われる、木崎湖、中綱湖、木崎湖です。



大町市の水系(川・湖)
主な水源



AAA (トリプルA) の青木湖

川や湖の水質は国の基準で、きれいな方から A A・A・B・C・D・E の6段階で表しています

- A A 最もきれいな水。水道水として1級
- A 人が入っても安全な水
- B 水産業として使える水 (魚など)
- C 水道水としては使えない水
- D 農業用には使える水
- E 工業用には使える水

大町市の川や湖のほとんどが最高水準のAAです。

さらに青木湖の水質は、AAの中でも特にきれいな水に与えられるAAA (トリプルA) と言われていて、この湖の透明度は日本の全ての湖の中で9番目という素晴らしさです。

大町市の水道から出る水はすべて湧き水です。また大町市には水をきれいにする浄水場という施設がありませんと言われたらびっくりされるでしょう。

大町の飲み水の水源は主に上白沢水源、矢沢水源、居谷里水源の3つを使っています。これらの水源の水は、北アルプスにしみ込んだ水が長い年月をかけて地下を通り、湧き出した水を直接使うため、雨水や川の水が一切混じていません。この水はそのまま飲んでも差し支えないほどきれいなので、汚れを取り除くための浄水場がありません。しかし法律で、水道水は消毒をしなければいけないと決められているので、最小限の薬品で消毒をし、水道水にしています。消毒の量は500tの水にわずかペットボトル1本分です。

ここでクイズです!

今、外国では飲み水として、水道水よりスーパーなどで売っている水を飲む人が多いそうです。どうしてでしょう。三択です。

- 1 外国人はお金持ちが多いから
- 2 外国では水道水をそのまま飲むところが少ないから
- 3 外国では世界各国の水の飲みくらべがブームだから

香港で売っている長野県の水



400円

日本のコンビニで売っている水



120円

大町市の水道水



なんと0.07円です

高瀬川から分かれて大町市の街中(まちなか)を流れて、農具川に流れ込む所の水門の写真です。残念ながら、毎日このくらいのゴミがひっきりなしに、市役所の人が片付けています。

私たちにできることは、大町の水を守るために活動することです。仁科台中学校では、年2回ゴミゼロ運動をしていますし、隣の第一中学校では3年生が毎年農具川清掃をしています。私たち中学生も地域の一人として大町市の自然や水を守るという意識で、これからも貢献しなければいけないと思います。



街中を流れた水の結末

伝統工芸^{まつさき}松崎和紙 腰原修一さん

「人物」講座

大町市で松崎和紙を作っている腰原修一さんに、そのお仕事について質問をしました。また、体験をさせていただきました。腰原さんにインタビューしたことをまとめました。松崎和紙の名前の由来はその工場のある地域が松崎地区という地区だからです。



Q1. 松崎和紙が始まったのはいつですか？

A. 松崎という地区で、90 年ほど前の昭和 3 年に始まりました。

Q2. 何歳から始めましたか？

A. 手伝いは小さい頃から。正式に始めたのは 22 歳からです。

Q3. 何年間仕事をしていますか？

A. 33 年仕事をしています。

Q4. この仕事をして良かったことは何ですか？

A. 見学などを通して、たくさんの地方の観光客と出会うこと。県外の人にも知ってもらえることです。

Q5. この仕事につこうとした理由は何ですか？

A. この伝統をなくさないために、自分がやらなくてはいけないと思ったからです。

Q6. 出身地はどこですか？

A. 大町市社の松崎地区。仁科台中学校に通っていました。

Q7. この仕事の魅力は何ですか？

A. 昔から続いていること。たくさんの人に和紙を使ってもらえることです。

Q8. 和紙を作るときに工夫していることはありますか？

A. 和紙にも色を付けるなど、若い人達にも使ってもらえるような工夫をしています。

Q9. 従業員の人数は何人ですか？

A. 昔は 20 人ほどいたが、今は 4 人です。

Q10. 松崎和紙への思いを教えてください。

A. 今は使う人も少なくなっているから、生活の一部として手軽に使ってほしいと思います。

和紙は高度な技術が必要なのに、職人になるためたくさん努力をして、かっこよくてすごいと思いました。

和紙ができるまで

- ①木の幹（樹皮）の部分をもく
- ②煮て繊維のみにする



- ③つぶす
- ④とろろあおいの根から樹液を取り出す



- ⑥紙をすく



- ⑦乾かして完成



私たちに身近な大町の歴史を調べることが面白そうだったので、歴史講座を選びました。
「若一王子祭り」や「やまびこ祭り」のはじまりを知りたいと思い、本で調べたりしました。

若一王子祭り

—三重の塔—

いつ建てられたかは、はっきりと分からない
(849年に建てられたと言われている)

—流鏝馬をするときの服装—

頭に三枚傘をかぶる→神様がかぶるもの
三枚傘の上にニワトリにいる→縁起が良い

—流鏝馬の言い伝え—

戦に勝てるように流鏝馬をしたのが始まり
昔は決まった家の長男しか流鏝馬ができなかった
(今は大勢人が参加できるようになった)
もともとお祭りは社と大町で行われていた→
(お金が足りなくなって)大町だけになった

—流鏝馬に使われる馬—

昔は馬が余っていた
今は馬が足りない→借りてきている
(おとなしい木曾馬を使っている)



—舞台—

今は大黒町・堀六日・八日町・九日町・高見町・五日町
が舞台をひいている
舞台ひきが終わったら、舞台をパーツごとに分けて町ご
とに管理していた(大黒町は今も続けている)
大黒町の舞台は有名な人が彫っている→文化財

—その他—

流鏝馬の弓のあたり具合でその年の豊作、吉凶を占う
お寺と神社が一緒にあるのは珍しい
流鏝馬の時、人を集めるのが大変(子供が少ないから)
流鏝馬は子供がやる(大人より子供の方が純粹だから)
「けんか舞台 今年もにぎやか 王子祭り」
→(このようなカルタもある)

やまびこ祭り

—始まったきっかけ—

大町市ができた都市から25年を記念して始まった

—参加者—

今年→60組 2,639人 始めは参加者が少なかった
初め→48組 1,500人

—やまびこおんどを作った人—

作詞…大町くるみの会
作曲…小山きよしげさん
おどり…西崎みどりさん

—イベント(昔)—

創作みこしコンクール→41体 800人が参加
ディズニーランド開園の年にそれにちなんだ、みこしも
あった
やまびこの聖火→御神輿を燃やしたりした
やぶさめ太鼓→西公園で演奏会をしていた
大声コンテスト→小・中学生が参加していた
ミス大町→大町をPRしたりした

—やる所—

1～6回→商店街・西公園
8回～ →商店街・西公園・文化会館
現在 →商店街

—その他—

バスを出して遠くの人にも楽しんでもらえるようにした
大町市全体に、ハガキを配り県外の人に手紙を書いてもら
い、たくさんの人に来てもらった
お祭りでお世話になった人に感謝状をわたした
今は雨が降ったら中止になるけれど、昔は雨が降ったら
延期になった

楽しいだけの祭りではなく、歴史があることがよく分かりました。祭りについて調べることを通して、大町について深く知ることができてよかった。昔から続いているこの祭りを、私たちも受け継いで、これからも残していきたいです。

美麻小中学校 総合的な学習の時間(美麻市民科)の概要

関係をつくる力を高める「美麻市民科」

関係をつくる力とは、「意思を伝え合いながら生活上の問題を解決し、自分を取りまくひと、もの、こととの関係を深めること」であり、それは私たちが市民生活を送るときの基礎となる力です。本校ではこの関係をつくる力を、「聴く・問う」から始まる対話活動を中心とする「かかわる力」と、自分と社会とのつながりを明らかにする「意思決定力」でとらえています。

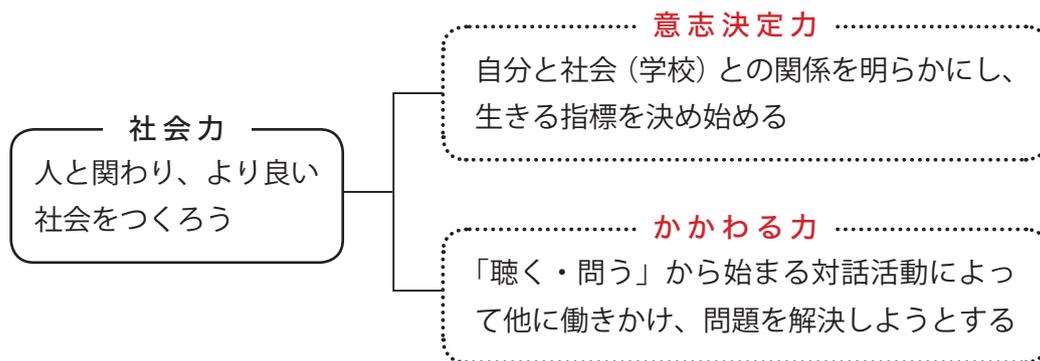
「美麻市民科」は、総合的な学習を主に、行事や特別活動(学級活動)の学習、キャリア教育の学習を関連させて、児童生徒に「関係をつくる力」を高めるための本校独自の学習です。地域の自然、文化、住民との対話や職業体験を通し、「ふるさと美麻を愛し、語り、想い続ける児童生徒」が実現します。

また、昨年度より個に寄せた「夢の時間」を設定し、自らの在り方や生き方を見つめ、生きる指標(志)を明らかにします。

<目的>

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身につけ、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考える力をつける。

- ・地域と連携し、美麻の文化や歴史について調査したり、発信したりする。
- ・地域の学習を発展させ、社会に目を向ける。



<学習の進め方>

	時間	活動内容
4月	2	・市民科はじめの会(全体会①)
5月	4	・全体会②:長野大学講師・地域の方の紹介・学習計画をたてる
5~7月	18	・調査活動
8~10月	18	・調査のまとめと発表準備
10月	8	・5,6年→梨の木祭で発表 ・7,8,9年→地区文化祭で発表



梨の木祭



地区文化祭



市民科まとめの会

「美麻市民科」各学年の内容

区分	課程	関係をつくる力	学年	内容	発表	
ホップ	人間としての基礎を培う。	友だちとやりたいことに積極的に挑戦する。	3	美麻探検	美麻のよさを知る。 【探検・体験】	クラス展示 参観日
			4	美麻探検		
ステップ	思考力を高める。	対話を通して互いを理解し、認め合う。	5	美麻の米作り	美麻のよさと課題を知る。 【体験・調査・対話】	梨の木祭
			6	美麻のお宝発見		//
			7	美麻を徹底分析		地区文化祭
ジャンプ	社会との関係を明らかにする。	確かな意思をもって、他に働きかける。	8	美麻の未来を考え働きかける。	【協働】	//
			9			//

- ・ 7～9年の総合的な学習ではなく、3～9年の学習として考える。
- ・ 5, 6年は梨の木祭（学校文化祭）で、7～9年は美麻地区文化祭で発表する。
- ・ 5～9年は長野大学から指導をいただく。

平成 29 年度の学習内容

7 年生 美麻油田発掘特殊部隊

「美麻で天然ガスがでていた！」噂の真相を確かめるべくスコップ担ぎ出動！

美麻の問題

美麻マラソンや金婚式の復活をめざして…

美麻の魅力を伝えよう

美麻ブランドの立ち上げに向けて考えた。美麻の真の魅力とは？

伝統食について

手作り「やしょうま」一口食べてみて下さい！！

8・9 年生 『花MAME 株式会社』

美麻を活性化させることを目標に、花豆を通して美麻の認知度を上げるために設立された任意団体。代表取締役社長を中心に「戦略室」「デザインルーム」「育てる会」の部門に分け、自分たちで花豆を育てながら、色々な可能性を考え、最終的には「銀座NAGANO」に商品を出品することをめざし、活動しています。本年度は「花豆モンブラン」の販売や地区文化祭でイベント決行！さて、来年は？

9 年生 フリーペーパー班

「地域づくり会議」でプレゼンした予算で、フリーペーパーを完成・配布！自分たちで美麻の良さを撮影、校正した『MIASA LIFE』

CM班

「ふるさとCM大賞」をめざしていたが、行き着いたところは…

さあ、大町ケーブルテレビをご覧あれ。みあさのはなまめみあさのはなまめ

9月1日（金）プレゼンテーション講習会：元長野大学講師

「美麻小中学校のキャッチフレーズを考えよう」という標題でキャッチとはどういうものかや、キャッチの考え方を学び事前に皆が考えた美麻小中のキャッチを例に添削していただきました。（昨年度は、プレゼンテーション資料の作成方法や、注意点、発表方法を学んでいます。）

みあさフリーペーパー編集部 [Miasa Life]

昨年は写真の撮影の仕方、フリーペーパーの構成について勉強しました。昨年学んだことを参考に一人1～2ページを担当し制作に入りました。

今年行ったこと！



・キリン財団からの支援金



・地域作り会議からの支援金

フリーペーパー作成に必要な費用を作るために、学校運営委員会で自分たちの学習計画や予算のプレゼンを行い、支援金を得ることができました。(大人の前でプレゼンすることも良い経験となりました) さらに、キリン福祉財団が行っている「子どもの力応援事業」にも応募したところ、この活動を認めていただき、支援金を得ることができました。

美麻よいとこ大特集！

美麻よいとこよっとくれ！をテーマに地区ごとの「美麻いいとこ」といえるぜひ立ち寄ってほしい場所をまとめました！

お店取材



農園カフェラビット



美麻珈琲

インタビューページ



千見地区在住の松下愛さんにご協力いただき、インタビューページを作成しました。
◎美麻での好きな暮らし方
◎美麻に住む理由 など

メンドシーノのページ



美麻の特色、メンドシーノとの姉妹都市連携についてもフリーペーパーで紹介します。メンドシーノでの交流と美麻での交流の様子を紹介します。

まとめ

美麻の良さを再認識できたと同時に、自ら資金や情報を集め、成し遂げることの大変さを学ぶことができた。

感想

フリーペーパーの内容を考えて構想を練るのに時間がかかった。だが、その分本当に伝えたいものをじっくり選べていいものを作り上げられたと思う。外部の方に何回もアドバイスをいただいたことで、背景・構図・写真・文など自分たちらしさを出せたと思う。自分たちの言葉で美麻の良さがたくさんの人に伝わってほしい！文や構図にも個性が出ていておもしろいと思う！

後半バタバタしたところもあったが、たくさん話し合いながら、楽しく完成させることができよかった。資金や配布先、写真集めなど自分達の力で作り上げてきたものだからたくさんの方の目にとまり、その上で美麻に少しでも人が来てくれたら嬉しい。



Miasa Life

みあさよいとこよっとくれ



CM制作

昨年の活動

美麻の有名なものを
CMにしよう！
↓
「そば」と「静ノ桜」の
CMをつくる！

そば班のCMイメージ画
絵は誰が描くの？
イラスト・アニメーションで
CMをつくる計画

静ノ桜班の計画
あとは作るだけ
だったはずなのに…。
これでCMできる？

今年度の活動

今年、どうする？

↓
2人ずつでCM制作は大変！
1つのグループにまとまって

そばのCM

をすることに。

↓
**ふるさとCM大賞に
応募しよう！**

CM作りを始める。
大塚さんと八木さんから、
CMづくりについて
アドバイスをいただきました。

- いつまでに、何をするか計画をたてる
- アイディアをたくさん出す、質より量
- 案から絵コンテを作る
- 入賞作品や、他の作品を見るとよい

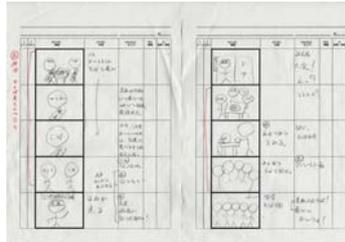
美麻 wiki にも、過去のCM作品を
のせていただきました。

計画

5月→案を出す
6月→絵コンテ作り
7月～8月→撮影
9月→編集

CM大賞の締切は9月末日。
大町ケーブルビジョンに電話し
て、資料をたくさん送っていただ
きました。

CM作りを始める



そばのCMで美麻らしさを出すには、
どうすれば？

納得？ 伝わる？ 悩み続けて8月。
撮影を始めないと
締め切りに間に合わない！



とりあえずの案
撮り始めてみたが、
気がつけば梨の木祭直前。

もうロケもできないし
CM大賞にも間に合わない！
で、考えたのが…

花豆のCM



学校で
作れる
もので
形にしよう

花豆のCM制作

私たちは、出演者として
がんばりました。
CM班のメンバー以外にも
多くの方々に手伝っていただき、
何とか完成しました。

CM作りを通して学んだこと

30秒という短い時間で何を伝えるか、自分たちや情報をくださった多くの人たちの思いを、いかに見る人に伝えるかという工夫が大切で、そこが一番難しかった。

みあさのはなまめ
みあさのはなまめ



目指せ！銀座 NAGANO！
花豆 MAME (株)

☆会社組織

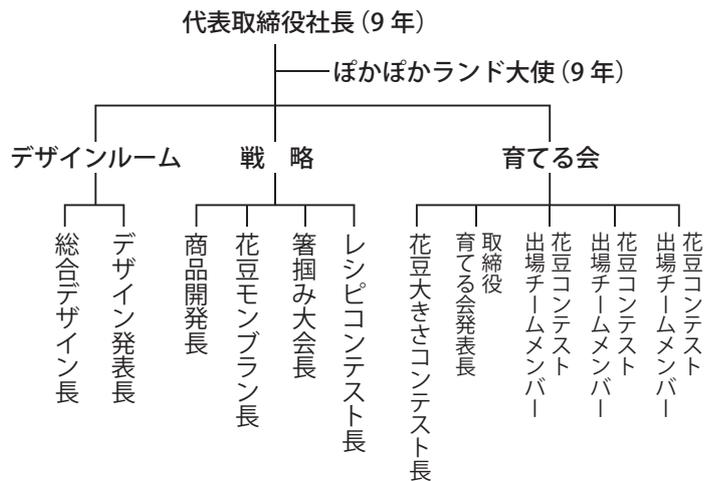
会社組織は、生徒の考えた計画（やりたいこと）が膨大となり、従来の方法では地区文化祭での発表にはとうてい間に合わず、目標達成できないという話になりました。

そこで、一人一人に仕事を分担し、責任感をもって取り組むことが望ましいのではないかと話になりました。また、ここまでも9年生の一人がリーダーとなって授業展開してきたので、会社組織だとしたら社長だねという話になり、「だったら会社にしてしまおう」という声があがり、このような組織になりました。



推進計画

花 MAME 株式会社 組織図



活動の動機 1

美麻では、過疎が進行中
↓
地域活性化したい
↓
地域の核をつくり
↓
産業を興し
↓
人口増へ

活動の動機 2

美麻の長所 (標高が高い)
↓
産業となりうる (高価)
↓
地域へ広げられる (可能性)
↓
花豆にしよう
昨年のリベンジ
(9年生合流)

活動の動機 3

花豆を
育て 加工 販売
↓
6次産業化
↓
どうせやるなら
めざすは銀座 NAGANO

市民科としての成果

- アポの取り方は、昨年度の練習もあり、自分たちで進んでできるようになった。
- 先のことを考えて行動できる人が増えた。
- 意欲的に行動できた人が多かった。
- メディアにでたことで、さらに意識が高まった。

辞令公布式



代表取締役社長です
辞令に担当職務と
内容を記入しました

- とてもやりがいを感じた。
- 人への伝え方に苦労。
- 適材適所って難しい。
- 先々を考えた。
- 上の人って大変だ

活動1

銀座 NAGANO の商品をみて

- ・パッケージ
- ・商品のデザイン を勉強



茶色は落ち着いた感じだ。伊那でチーズ？
中身も見える。なぜ？

地元のぽかぽかランド美麻

- ・商品のデザイン
- ・陳列の工夫 など勉強



手書きって温かい おおまぴょんだ！
感じがするね てことは、麻野大丸でも
いいんじゃない？

活動2

地域の先駆者からの助言

製品化への注意点
苦労話など



活動3

販売時の注意点や免許など

- ・衛生環境の大切さ
 - ・免許があること
 - ・育て方
- などを
↓地域の方と一緒に
学びました



大町保健福祉事務所
和田 純子課長



大町保健福祉事務所
北アルプス農業改良普及センター
小林 利充さん 三浦 斗夢さん

活動4

利益算出方法や商売の難しさ

- ・価格の設定方法
 - ・商売の難しさ
 - ・意外と利益が少ない
- ことを学びました

利益をだすって
大変なんだ

経費に
そんなにもって
いかれるの！



美麻ベーカリー
吉本 淳さん

菓子工房 pure で花豆モンブラン販売

花豆商品考案会議中に実家が東京で菓子工房をしている山村留学センター通いの鈴木君の「うちの店で何かできないかな」とのつぶやきから、計画がスタート。協力できる旨の連絡を頂いた後、さっそく鈴木君が主担当としてレシピや完成予想図を完成させ店舗に送付。数日後、試作品6種類が送られてきたのを、全員で試食し、商品を決定。夏休みに店舗でイベントをやると連絡を受けたので、参加できる人のみが参加。子ども達の頑張りもあり目標を達成。

その話を学校コーディネーターの前川さんが聞き、地区文化祭で販売することになったが、冷蔵庫の関係で100個ずつしか販売できないので、美麻地区に宣伝し、予約販売をすることになった。その際、保健所の指導によりカップに入れることや保冷剤等で値段設定を東京の店より上げることに。当日、15万円の売り上げがあったが、経費を差し引いたところ、80円の赤字に(笑)

商売の難しさを痛感した学びとなりました。



商品化について

デザイン



試作



試作品賞味



決定

花豆デザインルーム



動機

花豆を売り出すと8年生で決まったときに私達が考えたデザインで、花豆を売り出したいと思ったからです

包装調べ

- ◎色々な形があった
- ◎入れ物は四角い物だけでなく、丸い物やキャンディー型もある
- ◎一目につきやすいデザイン



1つでも手に取りやすい



キャンディー形



アニメのキャラクターの顔が描いてある



味によって色がちがう!!!

身の回りにある包装紙から、人目につくデザインや形のヒントをさがしました

ケーキのフィルム案

花豆アピールができるフィルムにしよう

↓
中身が見えない

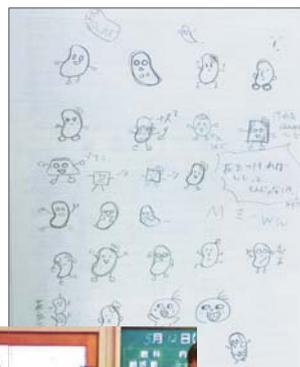
↓
中身が主役のフィルムにしよう

手にとってもらえる目立つものを作りたい!



花豆ゆるキャラ

ゆるキャラづくりは難しい。大丸くんのように、花豆をイメージできる、ゆるキャラをつくることで、花豆をアピール



もっと花豆の実物見た方がいいね

色々なキャラを考えてみたけれど、なかなか納得いくものはず...先生に相談しました。



長野大学 禹 在勇先生

そうか!

アンケートボックス作り



中学生が作った感を出せるように!

たくさんの人にアンケートを書いてもらうため、人目をひくボックスを作りました。

大丸くんと花豆をアピールするために「目立つ物」を作りました。

パネル作り

夏休みのイベントでも大活躍!



大通りで看板を出すと、見てくれる人が多くいて効果を感じました。美麻地区文化祭でも看板をアピールしました。

パネル作り通りすがりの人に見てもらえるよう顔をドーンとアピール!

感想

みんなが手に取りやすいデザインや目立つ物を考えることは、たくさんのデザインを考えなければいけないのだと分かりました。デザインだけでなく、形や見た目も重要なのだと思いました。

今後の目標・来年に向けて美麻の活性化や銀座 NAGANO に向けて、大丸くんや花豆を使ったデザインを考えていきたいです。美麻をアピールできるミニキャラを作りたいです!



育てる会

オしたち
花豆チーム

ぐるっと1周まわってね！

活動の動機

花豆を特産品にしたいという思いから花豆の栽培方法をアプローチしようと考えました。



土を耕して肥料を混ぜました。

苗が完成

ポットに花豆を植えて芽が出るまで待ちました。毎日、水やりを頑張りました。



水耕栽培にも挑戦しましたが、水を上手に吸わせられず、失敗。



骨組を作りました。丈夫な巻き方を北沢孝一さんに教えてもらいました。



収穫



収穫した全部の花豆です。

感想

沢山の方に応援してもらったおかげで、たくさんの花豆を作ることができた。草がすぐ生えてきて手入れが大変だったけど無事に育ってよかった。5人で一緒に花豆を育てられたので嬉しかった。

まとめ

僕たちは花豆を育ててみて花豆について様々な事を知ることができました。この事を忘れずに、来年も花豆作りを頑張っていきたいです。



草がたくさん生えてきます。根っこまで抜くのがとても大変でした。



ここまで大きくなりました。もう少しで収穫です。



花豆ができたぞー！
猿にとられないように
とっつぽいっ！



栄養が足りない！
追肥しよう！



栄養が足りないのかな～
北沢さんに相談してみよう



プランターをつくりました。切り返しという特別な方法を教えていただきました。

学校教育目標 [やさかの心] とめざす生徒

◇やりぬく根性
[たくましい子ども]

◇さがし求める気迫
[進んで学ぶ子ども]

◇かわいがる心情
[思いやりのある子ども]

[地域・保護者の願い]

- ・ のびのびと安心できるみんなが主役の学校。
- ・ 少人数だからできる教育をしてほしい。
- ・ 自分の考えをしっかりと発表できる、今のよさをつなげてほしい。
- ・ 八坂に誇りを持ち、自信と強い心を育ててほしい。

[生徒の姿]

- ・ 明るく素直で諸活動に誠実に取り組むことができる。
- ・ 異年齢集団の中で共に協力することができる。
- ・ 自分の考えを書くことや、進んで話すことができる。
- ・ 学校外で自分の力を出し切ることが苦手な面が見られる。

[学校経営の理念]

子ども一人ひとりの考えや生き方を大切にする学校 ～地域とともにある学校～

[本年度の重点]

考える力を高める

(重点3)
つける力の明確化

(重点1)
話し合い活動の充実

(重点2)
表現力の育成

◎やさかの時間の目標

- ・ 進んで学ぶ（自己課題設定）、確かな学力（主体的に動き身に付ける力）をつける
- ・ 思いやりの心（八坂を愛する心）、たくましい心身（地域の一員として、地域のこれからを考えるからだ）を育てる

◎「聞く・話す」力を高め、話し合いの質を高める

- ・ 話し合い活動の充実
- ・ 生徒にとって切実な課題を設定する
- ・ 互いの考えの違いに着目させる
- ・ 自分の考えの変化を振り返る

◎多くの人と関わる中で表現力を育む

- ・ 総合的な学習の時間では、地域の大人と関わりながら学習を進め、自分たちなりの解決策を提案する
- ・ 地域学習（そば学習）
- ・ 全校職場体験学習（2日間）
- ・ 交流学习（ふれあいタイム）

学習指導要領に示される
総合的な学習の時間の目標

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を変えることができるようにする。

総合的な
学習の時間

<八坂のひと・もの・こと>

- ・ 八坂コミュニティスクール
- ・ 地域ボランティア
- ・ 高砂大学（老人大学）
- ・ 福祉施設
- ・ 農作物（そば）
- ・ 歴史（民話、神社仏閣、分校）
- ・ 自然（里山、金熊川、地質）
- ・ 動植物（鹿、山菜）

学習の成果を発信する場

- ・ 学校の文化祭「やまびこ祭」で発表、展示
- ・ 八坂地区文化祭で展示
- ・ 八坂地区の公共施設で展示
- ・ 大町市内の商業施設や観光施設で展示
- ・ そば打ちでの発表
- ・ 市民参加と協働のまちづくりフォーラムで発表

今年の『やさかの時間』

今年の『やさかの時間』では、八坂地域の願いを受けて、大テーマを据えて活動を進めていきます。そのテーマは、「八坂のそば」です。では、なぜ今年は「そば」なのか。それは、次の図の通りです。

H28の八坂中の年間の反省より

そば蒔き、そば刈りは休止した方がよいのでは。

理由

- ほとんどの管理を地域の方をお願いしている。地域の方も高齢化、負担ではないか。
- 年間のカリキュラム上、行事時間は縮小しなくてはならない。

地域の願い

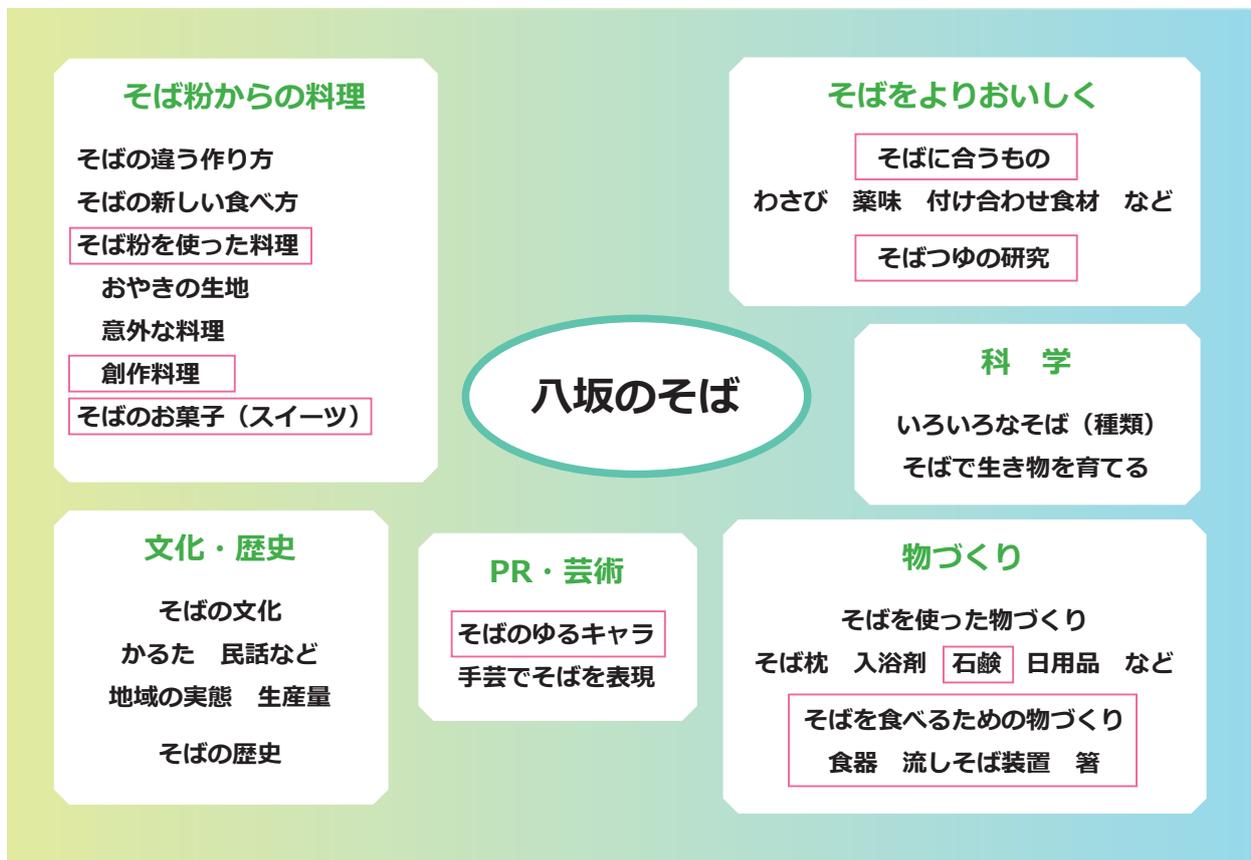
そば蒔き、そば刈りは続けてほしい。

理由

- 前年度同様に、畑の維持管理をしていただける。
- そば学習を継続してほしい。
- 学校運営協議会で継続することが決定。

地域は、それだけ生徒が「そば」に触れ、学習することを望んでいる！！

「八坂のそば」を中心に据えて、どんなことができそうか、早速、全校で考え合いました。初めは「そば」というテーマに戸惑いのあった生徒たちでしたが、話し合う中で、普段持つ「そば」のイメージにこだわらず、様々な発想が広がりました。それを次時に全校で発表し合い、自分が追究したい小テーマを絞っていきました。



今年度は のことを選択しました

そば粉
グループ

- そばが苦手な方でも食べられる料理を作りたい
- そばを好きになってもらいたい
- そば粉の新たな使い方を発信したい

そこで… ①そば茶 ②そばかりんとう ③そばクッキー を作りました。

①そば茶

宮崎玄そば、信州そば、だったんそばの3種類でそば茶を作りました。そばの実を焦がさないように数分炒り、実の余熱がとれたらお湯だしし、飲んでみました。全体的に味が出ていませんでしたが、中でもだったんそば茶は風味が1番出ていました。



② そばかりんとう

市販のそばを食べやすい大きさにちぎり、油でカリカリになるまで揚げます。パウダー調味料をかけて完成!! シンプルな塩味が1番そばの風味を感じられると思いました。



③そばクッキー

バターをレンジで温め砂糖を加えます。そば粉と薄力粉をふるいにかけて加え、生地をひとまとめにし、5mm程度にのばして型で抜きます。170度に予熱したオーブンで15分焼きます。焼けたらオーブンからだし余熱を取り、完成!!

一日八坂の日には、4軒のお店にかりんとうとクッキーを持って行って食べていただき、アドバイスや感想をいただきました。
訪問先：がんばりやさん、わたぼうし、倉科製粉、藤長菓子店



クッキー

香りが無い、硬すぎる、そばがない



バターを変えてみる

いただいたアドバイスをもとに、改良!

バターをサラダ油、ラードに変えてみた

そばの実を入れてみた

かりんとう

カリカリ、塩はさっぱりしていい、そばがない



かりんとうを大きめにするなど

形そのものを変えてみた



まとめ

そば料理をつくって楽しむこともできたし、地域の方と交流することができたのでよかったです。またお店の方にいただいたアドバイスをもとに、さらに良いものを作るため、さらなる追究ができ、いい活動になりました。

新たなかりんとうの作り方

- ①そば粉 80g に対し小麦粉 20g を大きめの器で混ぜ、おおかた混ぜたらお湯を 40g ~ 45 g 混ぜながら丸める
- ②麺棒で生地をのばし食べやすい大きさにカットする
- ③予熱しておいた油で揚げる

ジビエ そば グループ

- 八坂のそばを発信したい！
- 八坂のそばを使って、独自の新しいそばメニューを開発したい！

資料調べ

八坂のそばに合うものを探すため、全国のそばを調べました。
おろしそば、きつねそば、にしんそば、越前そば、きじそば、
たぬきそば、わんこそば、へぎそば…。その数 50 種類以上！

聞き取り調査

ヒントを得るため八坂 大平の北澤 千代司さんにお話をうかがいました。
「八坂のそばは標高も高いいいだね。」
「やっぱりそうなんだ！」

八坂オリジナルそばを作りたい！そこで八坂のジビエに注目！

鹿節の作り方



シカ肉が…
シカ節に変身！



鹿肉を約2時間いぶす。
2日間冷蔵庫で熟成させる。

あっ、そうだ。
八坂にはあれが
あった！！

スープの作り方



鹿節からだしをとる



アクをとる



本返しを加える

実際にそばを打って



そして[一日やさかの時間]
にもジビエそばづくり

そばも自分たちで
打ちました！



まとめ

八坂のそばを発信したい。僕たちはその一心でやってきました。
そして鹿節に出会い、千代司さんに出会い、鹿そばを作ることができました。
いろいろな苦労があり、挫折も味わいました。
それでも最高の仲間と最高のそばを作るという使命を達成することができたと思います。

ものづくり
そばを活かす竹
グループ

◎八坂の特産である竹を使って、八坂のそばを食べてみたい！

◎竹を使ったものづくりを試してみたい！

まず何を作るか考え、箸・お皿 流しそば装置 などを作ることにしました。

◆箸・お皿づくり

箸はすぐにできた。



皿は手間がかかる
上に竹をたくさん使う。



編みたいにしたらどうか。

うまくいかない



竹で竹を挟もう！

感想

竹で普段使えるような物を作れるのか心配だったけど意外とちゃんと作れました。いいものがいろいろできて嬉しかったです。竹を切るのは難しかったけれど、とても楽しかったです。

◆流しそば装置づくり

①流し装置の試作を行う

竹を半分に切る
細い竹を使って三脚を作る
立ててみよう！



試作品

②太い竹を探せ！

なかなか見つからず困っていたところに、北アルプス国際芸術祭で使った竹の残りを分けてもらうことに！



芸術祭で使った竹をもらえました

③作業開始！

太いのでなかなか進まず、
組み立ては一日八坂の日に。



④組み立てて水を流そう！

角度、組合せ方、水の流し方など工夫して、完成！

ものづくり
そば石鹸
グループ

◎そばを食べること以外に使ってみたい！

◎日常的に使えるものを作りたい！

◎そばで石鹸を作ることができるのか確かめたい！

インターネットで手作り石鹸のことを調べ、グリセリンソープを使って石鹸作りを行いました。時間・分量・色・形など、試行錯誤を重ねてよりよい石鹸作りを目指しました。

〈そばの美容効果〉
シミやシワの発生を防ぐ
肌の調子を良くする
シス・ウンベル酸という成分
が美白力アップする

そば石鹸の作り方

- ① グリセリンソープを細かく切る
- ② レンジでグリセリンソープを溶かす
- ③ 食紅、油、香料、そば粉を入れて混ぜる
- ④ 型に流し込み冷やして固める
完成！



まとめ

上手くできるのか心配だったけど綺麗な石鹸ができました。そば粉で作ったとは思えない良い石鹸が作れました。さまざまな工夫をしてより使いやすい石鹸を作ることができました。

PR グループ

◎そばやそば粉を使わずに、ゆるキャラを使ってそばをPRしてみよう！

まずはインターネットでゆるキャラについて調べ、動物をモチーフにしたキャラクターが多く、丸みを帯びたシンプルなデザインで、ご当地の特徴をうまく取り入れているということがわかった。そこで…八坂によく出るタヌキをモチーフにして、耳にはそばの花とそばでリボンをつくり、「ちょば」が誕生！



ちょば1体目



試行錯誤しながら4体目まで試作しました。3体目と4体目は、前回の反省をいかして作りました。

- ★名 前……ちょば
- ★性 別……男
- ★誕生日……8月8日
- ★年 齢……8才
- ★性 格……明るい
- ★得意なこと
…そばに化けること
- ★好きな食べ物…山菜

そしてこのキャラクター設定をもとに、「ちょば」がそばをPRする絵本も作りました。



八坂生まれのタヌキ「ちょば」はそばが食べられないのだけど、大好きな山菜と一緒に食べると、おいしく食べられるようになった！…そんなお話…

作っただけではPRにならないと思ったので、いろんな所に置きに行きました。ちょばの数が少なすぎるため、夏休み等にたくさん制作しました。ただ置くだけではなく、アンケートもとって、今後の活動に活かすことになりました。

八坂支所・アキツ・みさか・山岳博物館にちょばを置かせてもらい、アンケートを取りました。

アンケート結果

良いところ

- ・絵本のレイアウト、ストーリーが良い。
- ・かわいらしい、親しみやすい、癒やされる。

改善点

- ・キャラクター設定についての意見(性別、クマのキャラ追加など)
- ・絵本の構成(八坂の地名を入れる、もっとわかりやすくなど)
- ・絵本の作り方(もう少し説明を、文字を大きくなど)

その他の意見

- ・ちょばを通して八坂のそばがもっと広がると良い。
- ・着ぐるみを作ったり、グッズ販売をしては？
- ・紙芝居にして多くの人に見てもらえる工夫を。
- ・人形を使って人形劇にしては？
- ・PRの対象を明確にした方が良い。



まとめ

どうPRすれば良いのか、考えるのが大変でした。可愛いという感想をもらえて嬉しかったです。実際に、布でキャラクターを作ることができたので楽しかったです。アンケートを基に、さらに改善していきたいし、これからの活動で八坂のそばをPRしていきたいです。

集中総合「そば学習」

八坂では、地域の特産であるそばとの暮らしを大切にしています。

八坂中学校でも、平成13年から始まったそば打ち認定式など、そばを育て収穫する作業、さらにそば打ちをして食するという体験を通して、地域の風土や食材としてのそばについて学び、地域に誇りをもつことができるよう「そば学習」を毎年行っています。

こんなことを学んでいます！

- そばは、長野県や八坂で多く作られている作物なんだ！
- そばを通じた様々な取り組みにより、新たな可能性を発見。（やさかの時間との連携）。
- 自分たちの口に入る農産物は、こうして蒔いたり育てたり刈ったりすることで作られているんだね！
- すべての食べ物は、当たり前そこにあるのではなく、たくさんの人が関わって作られるんだ。感謝して食べなくてはならないな。
- 将来、こんな仕事もできるんだな。（キャリア教育との連携）



蒔く



刈る



打つ



生徒と共に地域に入り、熱心に素材を見つめていく教師の姿も、地域素材で学ぶ大きな意義といえましょう。

今年度は、台風や天候不順が続いたため、そばが全て倒れてしまい、そばを刈ることができなくなってしまいました。そのためどうしたらよいか、担当教師も悩んでいたところ、地域の方もそば畑の様子を見て心配し、収穫したそばの実を譲ってくださいました。そこで、全校生徒と急遽集会を開き、実情とどうすれば良いかを考える場を設けました。そして、そばの実を譲ってくださった地域の方宛てに、生徒が手紙を書きました。

この度は、そばの実を頂きましてありがとうございました。

今年は全校で『やさかの時間』にそばについて研究しています。私のグループでは、「八坂のそばを使って新しい食品を開発しよう」と、一学期から、そばを使ってかりんとうやクッキー、そば茶を作りました。自分たちで植えたそばを自分たちで調理することが待ち遠しく、そばが育つのを待っていましたが、今年はそばを収穫することができないと聞いたとき、とても悲しかったです。これでもうそばの料理を作れないのか…。そんなときに、仁科さんがそばの実をたくさんくださったと聞いて、私は本当にうれしかったです。仁科さんから頂いたそばの実を無駄にすることなく、新しいそばの料理に使ったり、自分でそばを打ったりしたいと思います。もしよろしければ、仁科さんにもお越し頂いて、そばの料理や手打ちそばを食べていただければ嬉しいです。仁科さん、本当にありがとうございました。

今年も無事にそば打ちを行い、3年生はそば認定を受けることができそうです。

今年度は、思いがけず、自然を相手にすることの厳しさを感じたそば学習でしたが、継続総合「やさかの時間」の学習をよりどころとしながら、生徒たちは地域の方への感謝の気持ちを表すことができました。これが、地域素材で学ぶよさであると実感しています。

総合にとどまらない地域学習の取組み



イワナの塩焼き完成！

今年度は初めて理科の授業で、地元で養殖されているイワナを使った学習を行いました。「美麻岩魚クラブ」の方に教えていただきながら、イワナの体のつくりを観察したり、魚の内臓をとって塩焼きにして食べたりして、地域で育てられている素材を生かした学びになりました。

イワナの刺身をいただくこともでき、産地直送、直前まで生きていた新鮮なイワナならではの素材の味を堪能することができました。

私たちのすぐそばにも様々な特産物があるのだと知ることができた、充実した学習でした。

<生徒のノートより>

イワナのえらと内臓だけを出すときにうまくできたのでよかったです！！刺身も最高でした！また、食べたいです～！やっぱり日本人は魚が好きなんだなあ…と思いました。

今日は、イワナを食べました。とてもとてもおいしかったです。刺身は、川魚だから食べられないと思ったけど、食べてみるとコリコリした食感と凝縮されたうまみが絶妙なおいしさで、何度も食べてしまいましたが、あれは、本当においしかったです。つぼぬぎもとても難しかったです。きれいにスーッとぬけたときは、気持ちよかったです。塩焼きは本当においしく、骨まで丸ごといけました。新鮮な魚はいいですね。また、食べたいなあー

今日は、イワナを使っていろいろやりました。はじめに、解剖をやりました！その後に、調理して食べました。おいしかったです。えらと内臓を取るのがとっても楽しかったです。お刺身は、思った以上においしかったのでびっくりしました。焼き魚は、ホクホクしていたので、おいしかったです。唐揚げはとってもおいしかったです。色んな事ができました。



姉妹都市立川市との中学生サミット

主催 立川市教育委員会
大町市教育委員会



平成 27 年度から始まった、「立川市・大町市姉妹都市中学生サミット」は、今年度大町市で開催されました。7月 22・23 日、大町市の中学生 18 人と立川市の中学生 20 人が、同時期に開催されていた若一王子神社例大祭や北アルプス国際芸術祭などを巡り、大町市の文化を体験し交流を深めました。ダムカレーのランチで始まった交流は、市内巡りや宿泊、翌日は楽しみにしていたカヌー体験が雨のため中止になるハプニングはありましたが、竹細工やレクリエーションなどともに体験することでより深まっていき、最終日の見送り時には今年も涙がみられるなど、充実した二日間となりました。今年で 3 回目となったサミットですが、毎年すばらしい交流となっています。これからも続けていきたい交流です。

7月 22 日 (土)

- 11:30 立川市中学生出迎え・対面式
- 12:20 昼食 (ダムカレー)
- 13:00 講義「大町市の昔・今」
- 13:30 市街地巡り (班別活動)
大町の良さ発見しよう
市内を巡りながら問題を解こう
- 17:00 交流会 I (意見交換)
- 17:30 ゆーぷる木崎湖にて夕食
～市街地へ移動
若一王子神社宵祭り見学
- 20:30 鹿島槍スポーツヴィレッジへ
- 21:30 交流会 II (レクリエーション)
- 22:30 就寝



大町の人にはデメリットに思うこと (山ばっか、田舎) でも、立川の人には、メリット (自然がたくさん、静か) と思ってくれたことにびっくりした。

自分から勇気を出して話しかけてみることの大切さがよく分かりました。もっといろいろな人に大町の良さを伝えられる人になりたいと思います。

立川市と大町市の違いを色々知ることができたし、大町市が発展するためにはどんなことが必要なのかということ、立川市の様子と比べて考えることができたと思います。

2 日間を通して、真剣に考えたり、笑いあったり、たくさんの方があったけど、大町の魅力が再発見できたし、一番は、立川市と大町を中学生がつながることができて本当によかったです。

大町市中学生感想より抜粋

大町市市民活動サポートセンターの紹介

～中学生・高校生のみなさんと、地域や行政との橋渡しを担います～

市民活動サポートセンターでは、自治会・市民活動団体のサポートをしています。
また、市役所に何か相談ごとがあるときは、まずのぞいてもらう窓口でもあります。
気軽にのぞいて情報をゲットしてください。あなたもまちづくりに参加したくなるかも…
中学生・高校生大歓迎です。

つなげよう！

咲かせよう！

大町市では、市民の皆さんに積極的にまちづくりに参加していただくため「市民参加と協働のまちづくり」を推進しています。市民活動サポートセンターは、市民の皆さんの自主的な地域づくり活動や自治会活動を応援します。

情報収集

パンフレットスタンド
掲示板・インターネットで
情報収集！

応援します！
きらり★輝く
市民活動

情報発信

市ホームページ・CATV
マスコミ各社へ
活動情報を発信！

相談

自治会の悩みや
団体の各種相談、
助成金情報の
提供等

大町市 サポセン^{って} どんなところ？

サポセンに登録すると…
さまざまなサービスをご利用いただけます♪
(自治会は登録の必要はありません。)

※営利のみ・政治活動・宗教活動を目的とした
活動団体は除きます。

場の提供

事務作業や
ミーティング、
交流の場に！
(10人程度)

情料の作成

印刷機等
事務機器の利用

機器の貸出

パソコン・液晶プロジェクター
ロールスクリーン・AED
ポータブルアンブ
(要予約)

*コピー機 (A4・A3・B5・B4)

白黒：1枚 10円

カラー：1枚 50円

*印刷機 (10枚以上から)

製版代：1枚 40円

インク代：10枚ごとに 10円

(ただし、10円未満切り捨て)

※用紙は各自ご用意下さい。

*ラミネーター (A4・A3)：1枚 30円

*その他

パソコン・紙折り機・裁断機 (無料)

【開所時間】

*平日

午前 8 時 30 分
～午後 5 時 15 分

*夜間開所 (要予約)

毎週月曜日・木曜日の
午後 8 時まで

※当日午後 3 時まで

にご連絡ください。

(祝祭日は行いません)

大町市市民活動サポートセンター

(大町市役所西庁舎 1 階)

〒 398-8601 大町市大町 3887 番地

TEL 0261-22-0420 (内線 830・831)

FAX 0261-85-0763

E-mail : shiminkatudou@city.omachi.nagano.jp

お気軽に
お立ち寄り
ください

発行 2017年12月16日

特定非営利活動法人 ぐるったネットワーク大町

〒398-0002 長野県大町市大町 1559 番 4

TEL 0261-85-0556 FAX 0261-85-0557

協力 大町市 大町市教育委員会

大町市立第一中学校 大町市立仁科台中学校

大町市立美麻小中学校 大町市立八坂中学校

この冊子は平成 29 年度独立行政法人環境再生保
全機構地球環境基金の助成を受けて作成しました

